

事務事業名	科学教育センター運営（維持管理）事業				担当	教育委員会 科学教育センター	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-6611	
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市科学教育センター設置、管理及び使用条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成5 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	4. 社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>・科学教育センターは学校教育の一環として学校では実施困難な理科の観察実験、天体の学習指導を小学3年から中学3年までの全員に対し、集中的に実施する施設として平成5年に開所し、教育施設として市が直接運営している。清掃業務や設備の保守管理業務等は専門業者に委託して実施している。</p> <p>・科学教育センターの概要 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建（一部地下）3544.5平方メートル、実験室3室、大型観察実験装置室、プラネタリウム室、事務室、ソフト製作室、情報室、多目的室、会議室、工作室、倉庫等</p> <p>・職員数9人（所長、次長、指導主事4人、常勤嘱託2人、事務職員1人）</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 ・清掃業務、機械警備業務及び消防設備、プラネタリウム等の各種設備の保守業務を専門業者に委託したほか、破損箇所等の修繕を実施した。 25年度計画 ・前年度と同様に計画している。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	委託件数、修繕件数	件	14	26	28	26	28
イ	修繕箇所	箇所	15	15	18	15	15
ウ	委託費	千円	8895	8140	8160	8094	8422
エ	修繕費	千円	6683	6189	7998	6037	4882
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・科学教育センターの施設・設備、科学教育センター利用者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	延べ面積	?	3544.5	3544.5	3544.5	3544.5	3544.5
イ	敷地面積	?	6881.7	6881.7	6881.7	6881.7	6881.7
ウ	利用者数	人	18321	18321	16809	17804	17500
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・科学教育センターの設備が常に安全・安心な状態で機能し、利用できるようにする。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	年間における良好な状態の割合	%	100	100	100	100	100
イ	施設設備の満足度	%	99	99	99	99	99
ウ							
エ							
オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・安全で利用しやすい状態で学習することで、児童生徒の科学への興味関心を高め、学習意欲を向上させる。 ・市民の科学に対する理解を深め、生涯学習の一助とする。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	理科が好きな児童生徒の割合	%	92	92	92	91	92
イ	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	24.1	24.1	24.5	24.5	24.5
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	14,978	14,329	16,158	20,893	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	285	300	300	300	0
		人件費計(B)	千円	1,156	1,280	1,273	1,261	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	16,134	15,609	17,431	22,154	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・平成5年6月に科学教育センターが開所し、その施設を維持管理するために開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進行による児童生徒数の減少、学校週5日制の導入による学習利用日数の減少等から、利用人数・回数は減少傾向にある。 ・経年により、機器や設備の更新時期を迎えている。 ・平成21年3月に二宮町との合併により利用人数は増加した。 ・プラネタリウム本体は経年により更新の時期を迎えている。本体や周辺機器の修繕も増えてきている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・議会から、保守経費節減に努めることや、保守業者に市内業者の参入がはかれないか等の意見がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・小・中学校の理科観察実験学習施設の維持管理業務である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・市有施設の維持管理業務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・科学教育センターの施設設備が対象であり、その維持管理業務である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・中長期保全計画を作成し、計画的に予算化して、設備の更新を計画的に進めている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・維持管理を中止すると機能を損ない、センターの利用ができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・最小限の経費で運営している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・実際の維持管理業務のうち、委託できるものはアウトソーシング済みである。最少の人件費で管理している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・科学教育センターは学校教育の一環としてすべての市内小中学生が利用している。また、生涯学習の施設として、全市民を対象にして公開している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							